
平成 2 9 年度

二酸化炭素削減技術実証試験事業

苫小牧実証試験センター

地上設備の操業に伴う

A 重油購入仕様書

平成 29 年 3 月 7 日版 (Rev. 0)

日本 CCS 調査株式会社

1. 目的

本仕様書の目的は、日本CCS調査株式会社（以下、「弊社」という）が経済産業省から平成29年4月受託予定の「平成29年度二酸化炭素削減技術実証試験委託事業」のうち、「二酸化炭素の地下貯留」に伴い、「苫小牧CCS実証試験センター地上設備」の操業運転で使用するA重油の購入仕様を規定することである。

2. 適用範囲

本仕様書は、弊社が経済産業省より受託する予定の「平成29年度二酸化炭素削減技術実証試験委託事業」のうち、「苫小牧実証試験センター内の地上設備の操業」に必要なA重油購入に適用する。

3. A重油の購入スケジュール及び数量

本仕様書で想定している運転スケジュールを以下に示す。

「平成29年度二酸化炭素削減技術実証試験委託事業」のうち、「苫小牧実証試験センター内の地上設備の操業」は、平成29年4月1日～平成30年3月31日の運転期間を予定している。

操業運転期間に購入するA重油の仕様と購入総量見通し（今後、操業の都合により変更の可能性もある）を添付資料-1に示す。

A重油の引き渡しは、苫小牧実証センター内、重油タンクへのローリーからの充填とする。数量の確定方法及び納期については別途協議とする。

4. 機密保持

A重油納入者は本仕様書を本目的以外に使用してはならない。

以 上

添付資料-1 A重油仕様および購入量見通し

添付資料-2 弊社業務の概要および苫小牧実証試験センターの所在

添付資料-3 苫小牧CCS実証試験センター全体図、A重油タンク周辺図、注油口、アースリール

(添付資料－1)

1. 仕様

1) 一般性状

- ア. JIS1 種 1 号の規格を満たすこと。
- イ. 商品規格として硫黄分が 0.4%以下のものを選定すること。
- ウ. 4 月～3 月の各月において納入がある場合、納入される A 重油を構成する各ロットの硫黄分データを、納入時に提出すること。

2) 動粘度

- ア. -20℃での動粘度が 40cSt (40mm²/s) 以下であること。
- イ. 1 0 月～3 月の各月において納入がある場合、納入される A 重油を構成する各ロットの 50℃、0℃、-20℃での動粘度 (実測データ) を納入時に提出すること。ただし、ロット数が月当たり複数ある場合は、それらの中からランダムに選んだ 2 ロット分について提出すればよい。

3) 元素分析値 (CHNO)

4 月～3 月の各月において納入がある場合、納入される A 重油を構成する各ロットのそれぞれについて、炭素 (C)、水素 (H)、酸素 (O)、窒素 (N) の元素分析値を提出すること。

4) 納入

基本的に、18 kL ローリーで納入すること。納入の詳細は別途打合せる。

2. A 重油の購入総量見通し (今後、操業の都合により変更の可能性もある)

月	数量 (kL)
2017 年 4 月	480
2017 年 5 月	384
2017 年 6 月	0
2017 年 7 月	551
2017 年 8 月	496
2017 年 9 月	480
2017 年 10 月	1,199
2017 年 11 月	1,405
2017 年 12 月	655
2018 年 1 月	596
2018 年 2 月	1,493
2018 年 3 月	1,009
計	8,749

(四捨五入の都合により、上記表の合計数は合わない場合がある。)

(添付資料 - 2)

●社名：日本CCS調査(株)

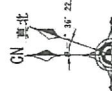
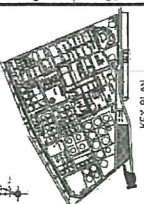
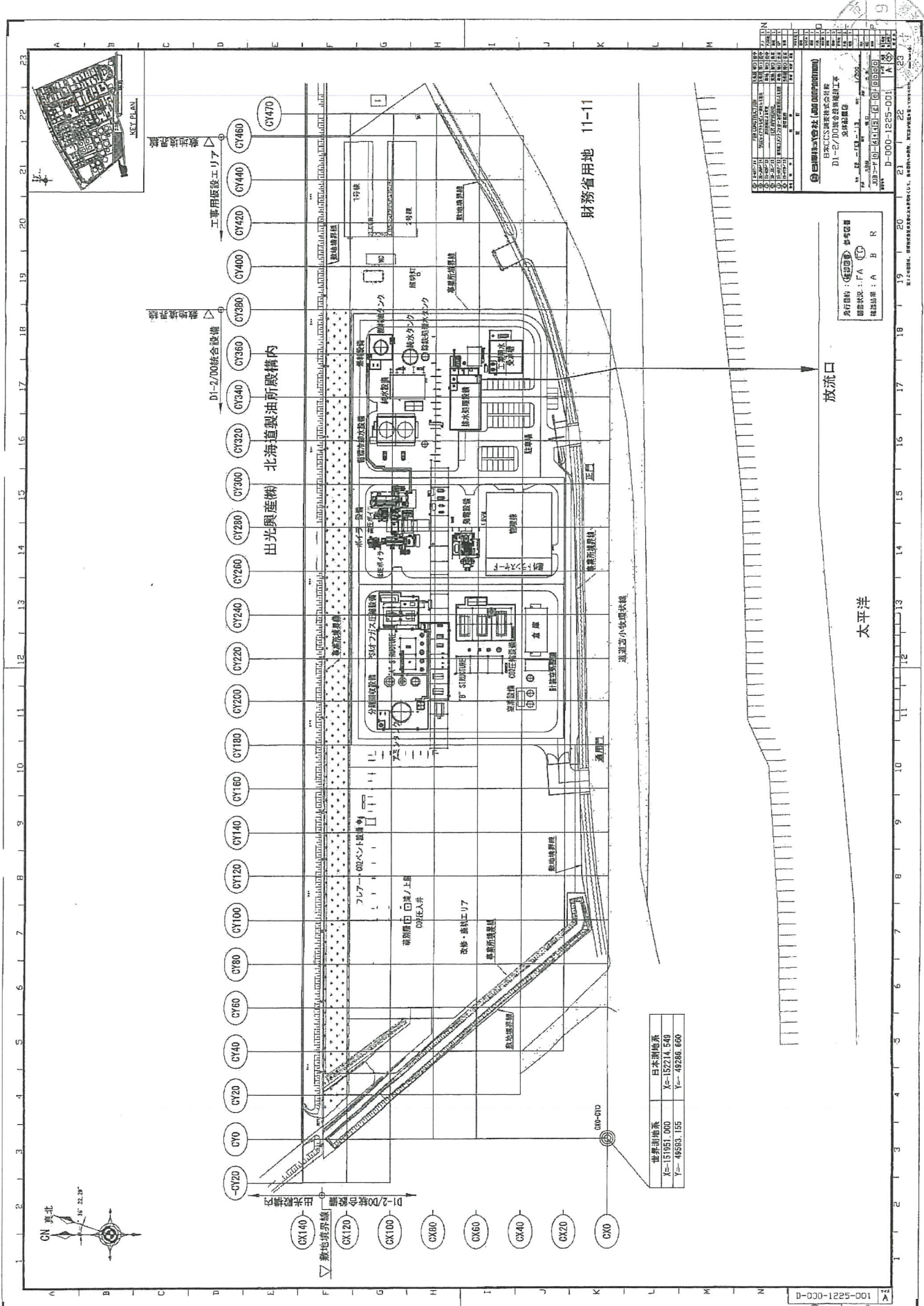
<http://www.japanccs.com/>

●事業内容：二酸化炭素 (CO₂) の分離・回収、輸送、地中貯留技術の事業化調査及び
研究開発諸業務、実証試験 (詳しくは Web をご参照ください)

●苦小牧実証試験センターの所在



以上



世界測高系

X	-157851.000
Y	-48583.155

日本測高系

X	-152214.540
Y	-49286.660

資料

図名	敷地配置図
縮尺	1/2000
作成者	大塚製作所
作成日	2011.08.24
承認者	大塚製作所
承認日	2011.08.24
図号	D-000-1225-001
図版	A
枚数	1/23

発注者：大塚製作所
 図案設計：PA
 種別：A B R

太平洋

放流口

財務省用地 11-11

出光興産(株) 北海道製油所設備内

D1-2/D00統合設備

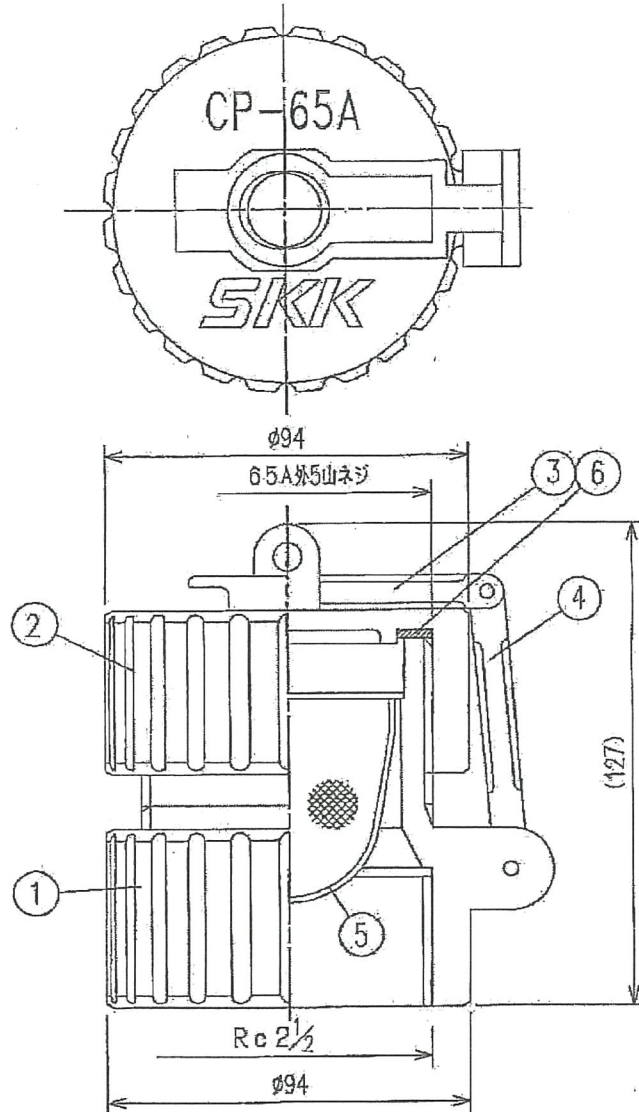
工事用仮設工/17

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

A B C D E F G H I J K L M N O P

D-000-1225-001

MS型N-65A注油口(外5山)



型 式:CP-65A5

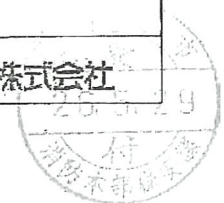
6	パッキン	NBR	1
5	ストレーナー	SUS 40 [#]	1
4	掛金A	ADG	1
3	掛金B	ADG	1
2	キャップ	ADG	1
1	本体	ADG	1
NO.	DESCRIPTION	MATERIAL	PIE.

注意

- 本製品はガソリン・軽油・灯油・重油を対象としております。前記以外の他の液種へのご使用につきましては、最寄りの当社支店・営業所へお問い合わせください。なお、前記以外の他の液種へのご使用の場合、本製品は補償の対象外となりますのであらかじめご了承ください。
- 本製品の故障の発生を考慮して、事故や損害などに対する冗長設計などの安全設計ならびに安全封鎖をお願いいたします。
- 本製品の使用あるいは不具合、または本製品と当社もしくは他社の他製品とを接続した際の使用あるいは不具合に起因もしくは関連する直接的または間接的な損害、その他一切について責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

名称 MS型N-65A注油口(外5山)
 図面番号 TB-1511C

SKK 昭和機器工業株式会社



ERD TYPE EARTH REEL

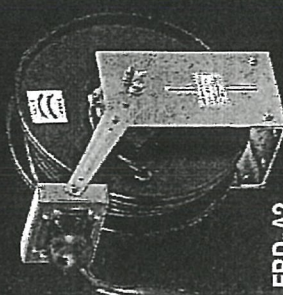
ERD型アースリール 接地導線用

引出し・巻取りやすい自動巻タイプ。
大型特殊車両等への取付も容易。

ケーブルの出し入れが多い作業現場でも、

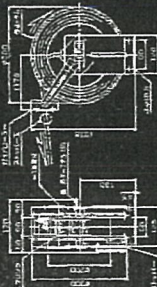
手間をとらず巻取りできます。

高所作業車などの特殊車両にも最適。

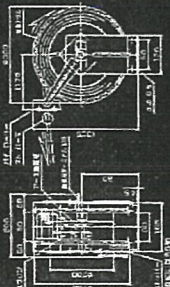


ERD-A2

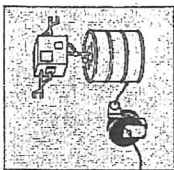
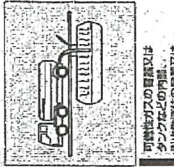
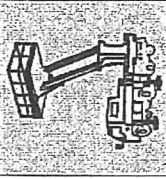
ERD-A2巻取り装置



ERD-A2L巻取り装置



ERD-A1巻取り装置



高所作業車などの特殊車両

高所作業車での作業に用いる接地タンク

型名	巻取り方式	巻取り径 (mm)	巻取り長さ (m)	巻取り速度 (mm/min)	重量 (kg)
ERD-A2	手巻き式	φ25	30	600mm/min	11.2
ERD-A2L	電動巻き式	φ25	30	600mm/min	30.0
ERD-A2L-0	電動巻き式	φ25	13.0	600mm/min	13.0
ERD-A2L-10	電動巻き式	φ25	10.0	600mm/min	10.0

任意で巻取れる手巻き式のERD-E型

型名	巻取り方式	巻取り径 (mm)	巻取り長さ (m)	巻取り速度 (mm/min)	重量 (kg)
ERD-E	手巻き式	φ25	30	600mm/min	8.6
ERD-E-0	手巻き式	φ25	13.0	600mm/min	4.0

●ケーブル材には、絶縁ESD対応ポリエチレンが採用されています。 ●重量は目安値となります。

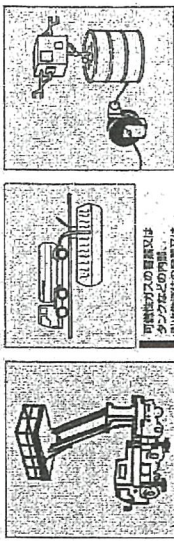
特長

- 本体を取付けるだけでホテアースが取れます。
- 高容量のアース導線で、ターミナル端子から確実に接地が可能です。
- 緊急コンバクトで緊急場所を取りません。

用途

- ガolin、その他液体危険物のタンクローリー車に。
- 電線車(発電)、高所作業車・リフト・クレーンなどの特殊車両に。
- 燃料貯蔵地など危険物取扱所や整備場など接地を必要とする場所に。

使用場所の例



静電気による爆発や火災が生ずるおそれのある場所では、アースリールをお使いください。

用途

- タンクローリー車、ドラム缶などの引火性液体、ガスなど可燃物取扱場所等に。
- 引火性の物を含む塗料、接着剤等を散布する設備に。
- 石油製品製造工場、化学プラント、ガスタンク周辺、燃料設備等に。
- その他化学設備、その付属設備に。

資料

可燃性液体が存在する環境では、静電気が着火源となり爆発・火災を引き起こす可能性があります。労働安全衛生規則や消防法の中では、静電気が着火源となるおそれのある場所においての静電気を除去するための措置の必要性が定められています。

労働安全衛生規則

第27条「事業者は、次の設備を使用する場合において、静電気が着火源となるおそれのある液体の危険物の屋外貯蔵タンクの注入口付近には、接地、所電材の使用、煙気の付与、点火源となるおそれのない除電装置の使用その他静電気を除去するための措置を講じなければならぬ。

消防関係法令 危険物の規制に関する政令

第11条の2「ガolin、ベンゼンその他静電気が着火源となるおそれのある液体の危険物の屋外貯蔵タンクの注入口付近には、静電気を有効に除去するための接地電線を設けること。」
第17条の6「給油設備には、給油ホースの先端に電線が接続された接地電線を設けること。」

■おおよそ可燃性が異なる液体、絶縁の異なる液体

可燃性液体	エネルギー (mJ)	可燃性液体	エネルギー (mJ)	可燃性液体	エネルギー (mJ)
メタン	0.28	シクロロロン	0.17	メクセル	20
プロパン	0.25	エチレンジオキサイド	0.06	アクリロニトリル	20
ヘプタン	0.24	水素	0.019	酢酸	10
ベンゼン	0.20	二酸化炭素	0.009	酢酸エチル	60

静電気の発生で問題が起こる可能性のある場所

- 化学性物品を扱う工場
- 高分子化合物、フィルム、バルブ、粉体等の結集性の粉を扱う場所
- 繊維、合成ゴム、紙等を扱う場所
- 石油製の製品(ガolin、シンナー等)の危険物の処理等
- 印刷、製本等の加工工程の処理等

静電気の原因となった事故例

- 火源・化学物品工場の爆発事故
- 塗装工場の火災
- 施設作業員等(石綿除去作業・解体作業等)での粉塵爆発事故
- 精密機械を使用する作業現場での、機械の劣化・故障

安全に関するご注意 ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みください。正しくお取り扱いください。

※本機は日本国内でのみ使用が可能です。

取扱説明書

株式会社ハシタリミテッド
〒400-0011 静岡県浜松市東区東町1-1-1 TEL:053-232-3221(代)

株式会社ハシタリミテッド
〒400-0011 静岡県浜松市東区東町1-1-1 TEL:053-232-3221(代)

株式会社ハシタリミテッド
〒400-0011 静岡県浜松市東区東町1-1-1 TEL:053-232-3221(代)



http://www.hataya.jp

EARTH MAG 00 1720